



# 研究支援体制整備を目的として URA 推進室を開設しました！

研究開発内容について一定の理解を有しつつ、研究資金の調達・管理、知財の管理・活用等をマネージする人材を **URA (University Research Administrator)** といいます。本学においても、研究推進体制の機能強化を図るため、平成 27 年 4 月 1 日に URA 推進室を開設しました！

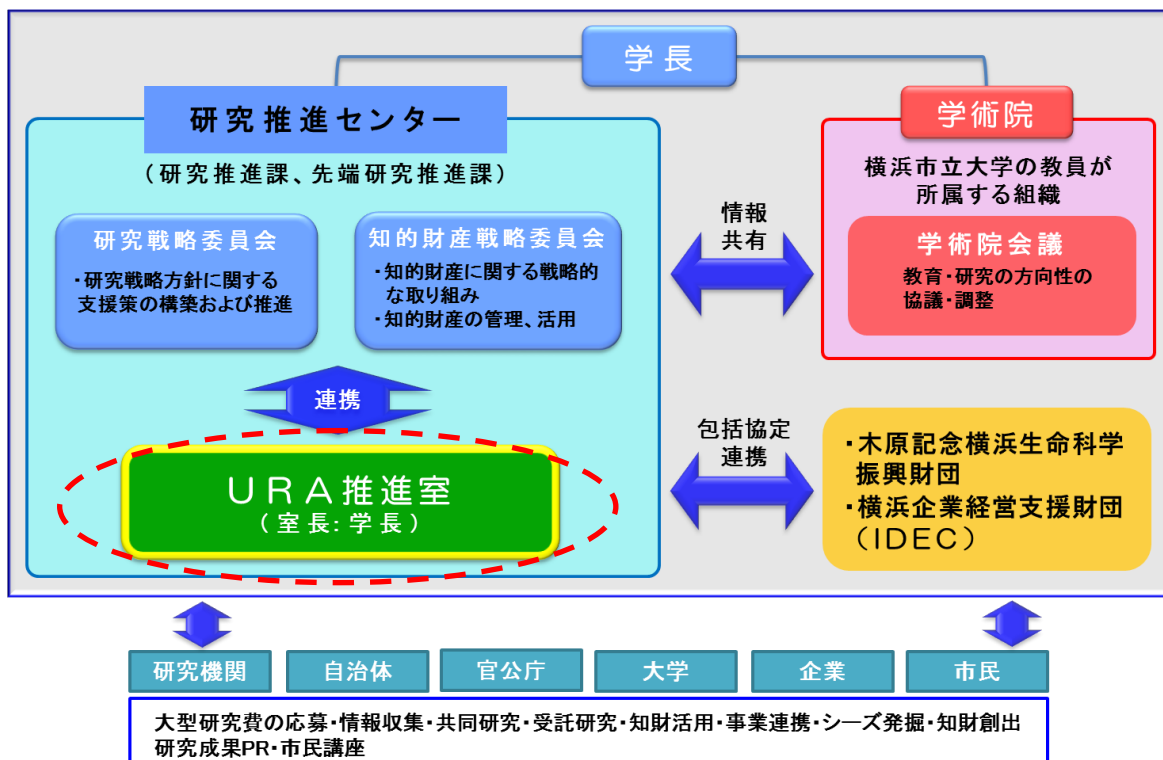
研究プロジェクトの企画段階から資金獲得、プロジェクト始動後のマネジメント（連絡調整や進捗管理、報告書作成、産学官連携支援）など、学長のリーダーシップのもと大学組織と協働し、リサーチアドミニストレーションシステムを整備・構築することで、本学のより良い研究活動推進・産学官連携支援を目指します！

## ◇ 室長ごあいさつ

研究活動を支援する人材として URA の活躍の場が日本全国で広まりつつありますが、本学においても URA 推進室を開設することとなりました。URA という存在を研究者のみなさんに知っていただき、URA 制度が定着することを目指します。

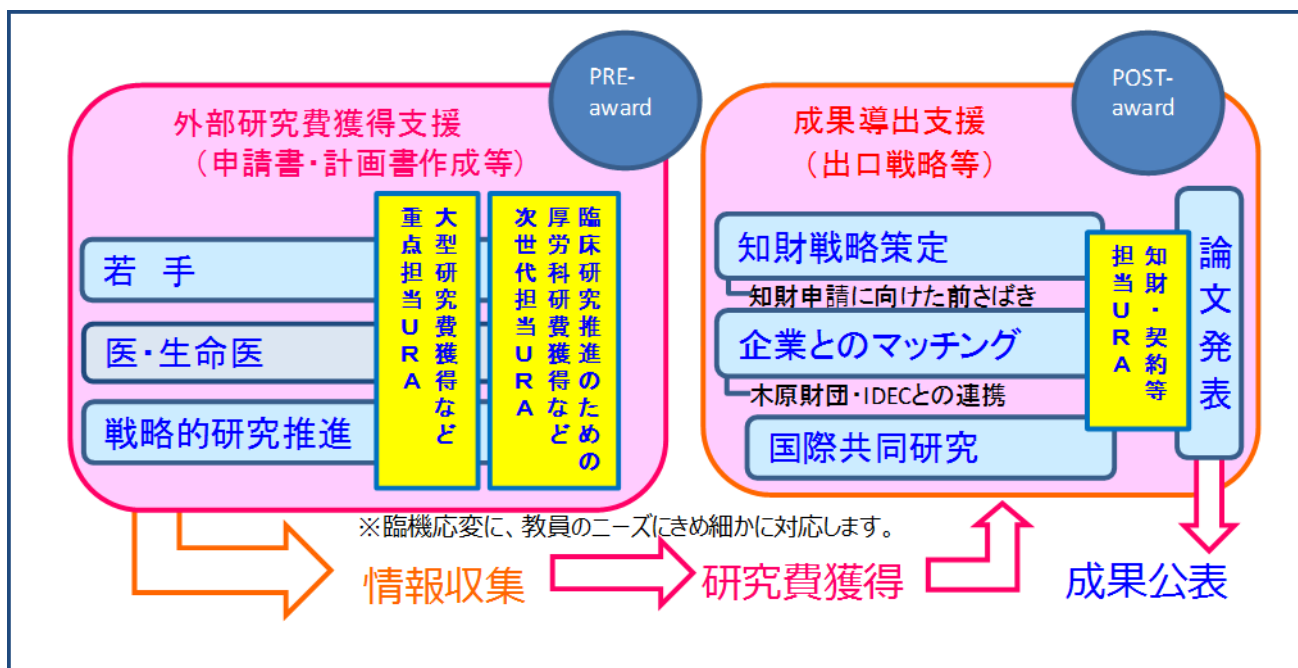
URA 制度を整備することで、教員はもとより若手研究員や大学院生の研究・教育環境の整備につながり、魅力ある大学として学部を超えた多くの学生が集うサイクルを創造していきます。

URA 推進室長（学長）窪田 吉信



## ◇ 支援方法

研究者のみなさまのヒアリングを通して、外部研究費獲得のための申請書・計画書作成支援や、成果導出のための知財戦略を立案します。



## ◇ URAメンバー紹介

### 岡野恵子 Keiko Okano

URA(ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター/アドミニストレーション) は名前が先行してしまい、具体的にそれが何を指しているのか答えられる人は少ないと思います。また、明確で普遍的な合意もないというのが現状です。だからこそ、市大が、そして市大の研究者の方々がURAに何を求めるか、が大切になります。先生方の率直なご意見を伺い、限られたリソースをどのように活用したらより良い研究環境ができるか、動きながら考えていきます。

「こんなこともできるんだ」と喜んでいただけるのが、URAとしての矜持です。

### 青沼有紀 Yuki Aonuma

学際領域を経て工学分野の研究に携わった経緯から、研究支援活動では、研究の位置づけや分野どうしの関連性、研究の展望と展開を意識することを心がけています。ひとつひとつの研究がもつ多様な可能性を具現化することを、研究者を取り巻く環境づくりによって支援することが、URA制度が目指すところのひとつであると考えています。

本学の研究環境の整備を通して、研究活動の「やってみたい」「かたちにしたい」のお手伝いができれば幸いです。

## ◇ お問い合わせ・情報発信

電話：045-350-8208/350-8322 E-mail：ycu\_ura@yokohama-cu.ac.jp

研究推進部先端研究推進課内（福浦キャンパス先端医科学研究棟5階事務室）

ホームページ URL：<http://www.yokohama-cu.ac.jp/amedrc/section/ura/index.html>

Facebook：<https://www.facebook.com/ycu.ura>

